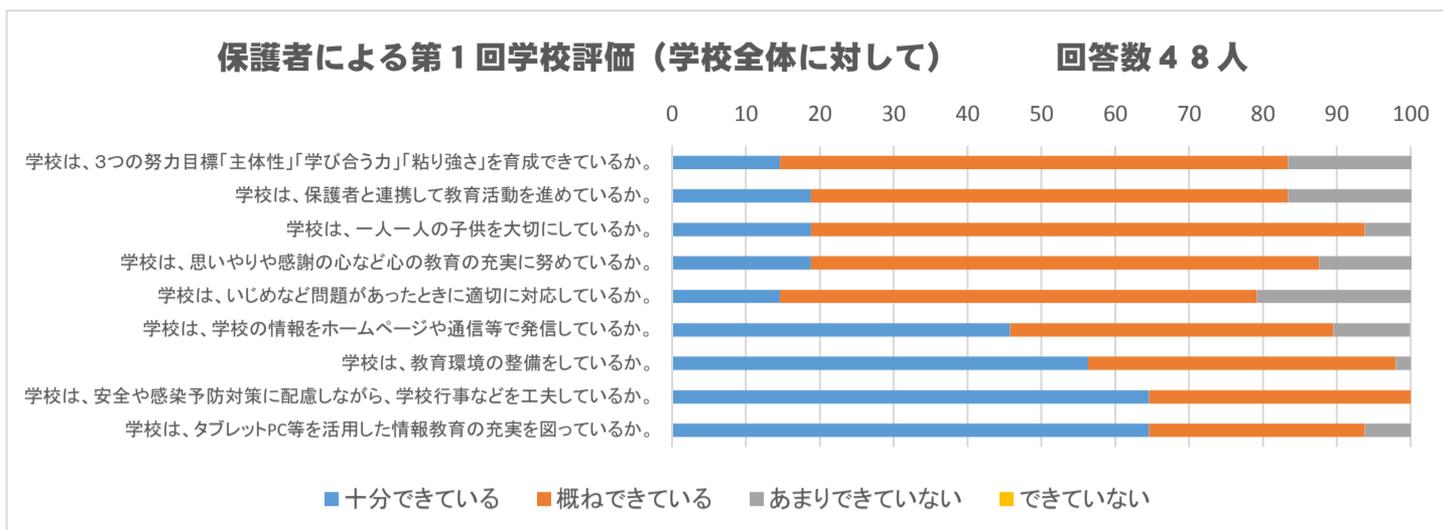
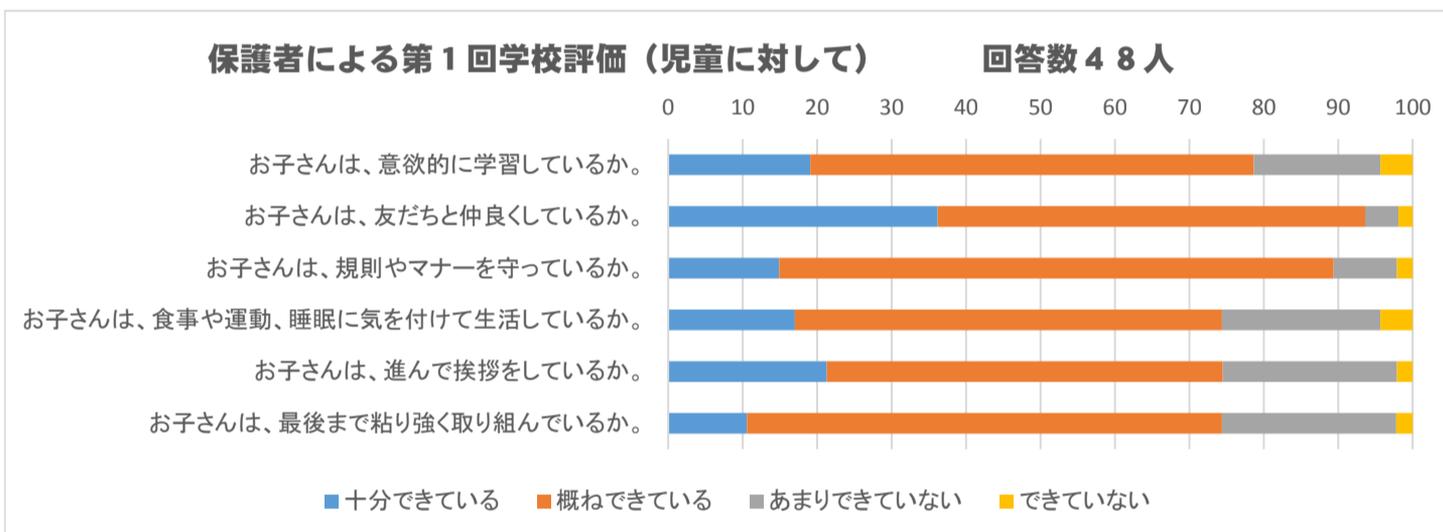


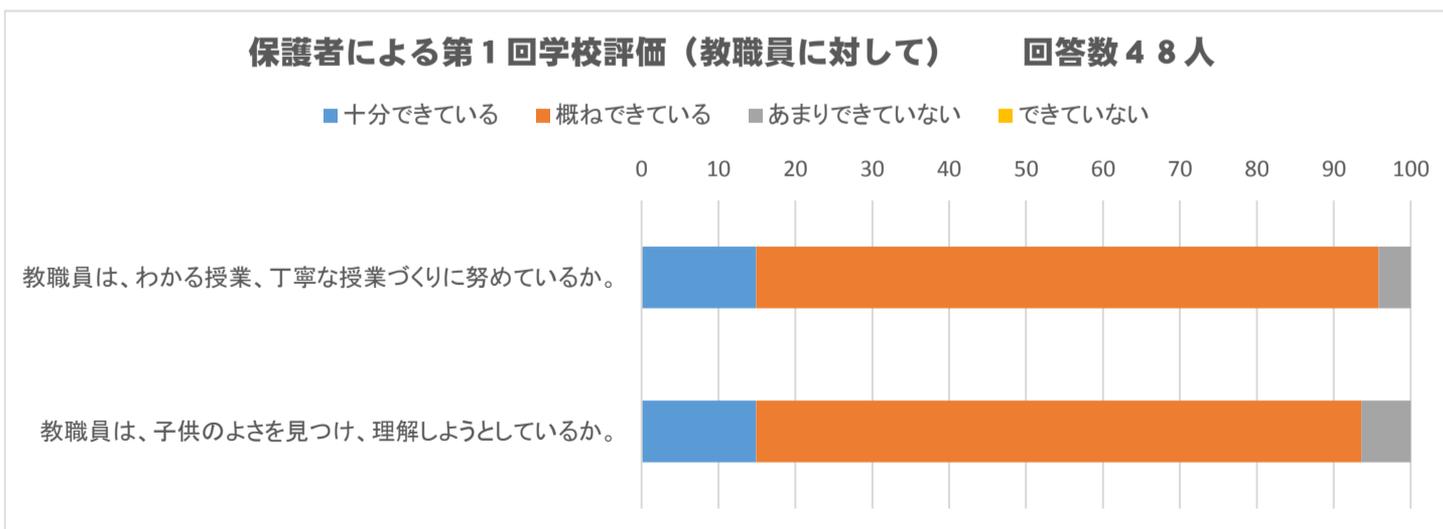
学校評価（第1回保護者分）結果の概要について



ほとんどの項目において、好意的な評価（十分できている及び概ねできている）が8割を超えている。特に、安全や感染症予防の対策に関しては、高い評価をいただいている。通信やホームページ等での呼びかけ、授業参観や運動会等で対策の徹底を進めたことが要因と捉える。一方、いじめ問題への適切な対応についての評価が、他項目に比べてやや低くなっている。職員全体で「いじめ防止基本方針」等を再度確認し、未然防止や早期発見に努めていきたい。

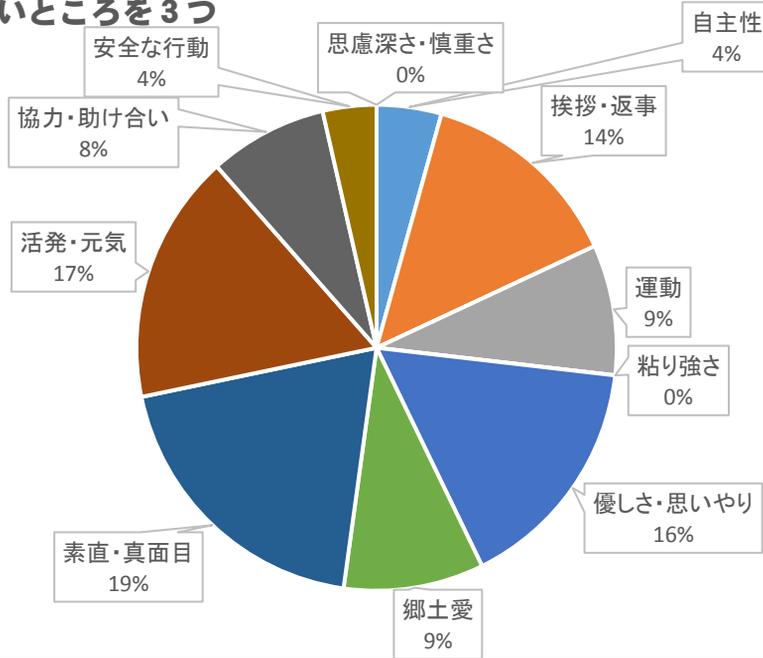


規則遵守や交友状況については、高い評価を得ている。粘り強さや挨拶、基本的な生活習慣に関しては、改善を要する。特に、挨拶や基本的な生活習慣は保護者とのさらなる連携・協力を推し進めていかなければならない。通信や学級懇談会での発信、学校と家庭で声かけや励ましを共に行う等、共通した実践を積み重ねていきたい。

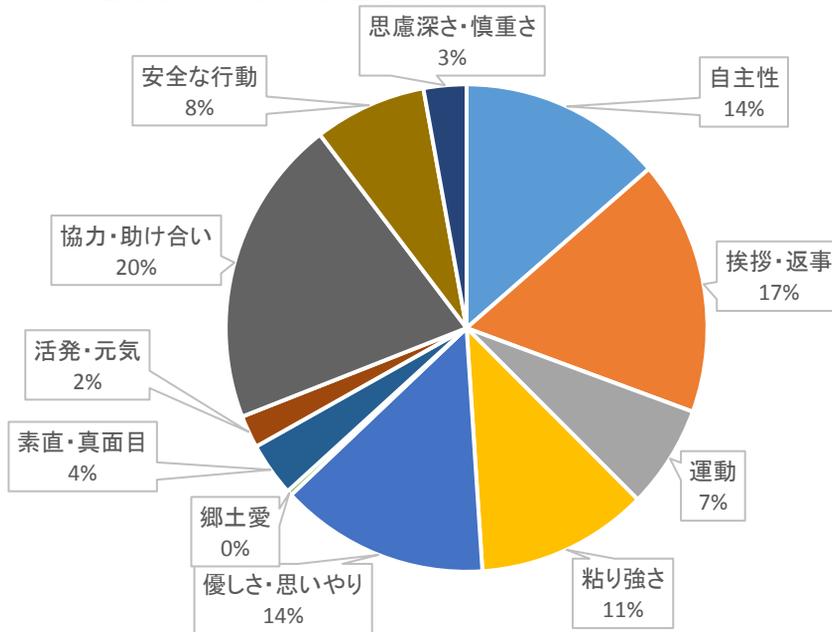


教職員の教育実践に対して、両項目とも高い評価をいただいている。「十分できている」という評価の割合がさらに増えるよう、自己研鑽や職員研修、互いの授業を見せ合う等の取組を重ね、児童がわかる楽しさや学び合う喜びを味わうことができる授業づくりを目指していく。

岩野小の子供の良いところを3つ



学校が子供に特に指導してほしいところを3つ



岩野小の子供の良いところでは、「素直・真面目」「活発・元気」「優しさ・思いやり」に関する割合が高かった。学校の中でも、学習に真摯に臨み、元気に活動し、友だちに寄り添う姿を多く見ることができる。一方、「思慮深さ・慎重さ」「粘り強さ」については、良いところとして挙がっていない。「粘り強さ」は、特に指導してほしいところとして割合も高く、また、学校の3つの努力目標の1つにもなっており、今後、よりよく身に付くよう重点的に取り組む必要がある。課題に諦めず向かう大切さを伝え、結果ばかりでなく過程を見届けながら、児童を認め、励ます関わり方を進めたい。